

第2回 新発田駅前複合施設基本設計ワークショップ 会議概要

- 1 開催日時：平成25年10月8日（火） 午後7時00分～午後9時30分
- 2 開催場所：カルチャーセンター 2階 視聴覚室
- 3 参加者数：28名
- 4 審査会委員：2名
- 5 傍聴者数：3名
- 6 日程：

内容

(1) 開会

(2) 挨拶

(3) 前回までのおさらい

○第1回ワークショップのまとめ

○先進地視察報告（長野県塩尻市えんぱーく）

佐藤総合計画から、視察先の長野県塩尻市「えんぱーく」の説明。

(4) ワークショップの進め方・ルールについて

(5) 全体の機能配置についての検討

○敷地分析の説明（5分）

○班ごとによる検討（50分）

(6) 発表

①一班

- ・図書館の真ん中にシンボルとなるメインツリーを設置してもらいたい。今の図書館脇にある露谷小路記念館のけやきの木のような感じ。青少年が図書館でシンボルツリーを見ながら過ごし、大人になって帰ってきた時にみてほしい。
- ・雪国なので、エントランスの傘立て、椅子にもコートがかけられるようにしてもらいたい。
- ・トイレは不特定多数が利用することから、セキュリティをしっかりとしてほしい。また入りやすいトイレとしてほしい。
- ・多目的トイレは、子供たちが性犯罪に合わないようにしてほしい。
- ・出入口を駅側に設け、入口近くにプレイルームを設置。
- ・年代ごとに読んでほしい本のコーナーの設置。
- ・キッチンスタジオはいらないと思う。唐突に入っている。
- ・私はキッチンスタジオに賛成で、壁を緑が見え、また外からも見えるガラス戸にしてほしい。
- ・図書館の閲覧席は窓側にキャレル席を多く設けてほしい。
- ・民間棟が2階となるか3階となるかわからないが、行き来できるものがあるといい。今すぐには言わないが、作れる余地を残してほしい。行政棟と民間棟、お互いに足りないも

のを補えればいい。

- ・私は、民間棟と行き来できるものは必要ない。行政棟としっかり分けてもらい、弱者のための施設であってほしい

②二班

- ・敷地全体の景観に関することから説明するが、光は南側から取り、西側には諏訪神社があるが西日が入る。東側は二王子が見える。えんぱーくもアルプスが見え、新発田のこの複合施設も自然の中にあるということを考え、雪国の特性を活かした方がよい。
- ・100台から150台のタワーパーキングが必要。
- ・民間棟も含めて高さを考え、2階から3階にオープンテラスを設置し、東公園と諏訪神社、又は飯豊連峰などが見えるように周辺の景観を100%取り入れる。
- ・出入口は南側の正面に設け、乳母車が出入りがしやすいよう1階は子供の施設を入れる。
- ・広めの階段を中央に設置し、そこは吹き抜けとする。
- ・職員の事務室には窓を設け、今日の天気把握できる位置がいい。
- ・職員が働きやすい動線を考えた機能としてもらいたい。また休憩所もしっかりつくってほしい。
- ・地下を書庫にする。
- ・城下町風の屋根や壁にしてもらいたい。

③三班

- ・機能を主に考え、商店街側を「にぎやかなゾーン」とし、商店街側にエントランスを設け、高校生の居場所やカフェ、一時保育を設ける。
- ・諏訪神社側を「静のゾーン」とし、図書館を設け、諏訪神社の緑が見える読書席があるといい。
- ・2つのゾーンの中間には、児童開架を設ける。
- ・一時保育があるので、民間棟に歯医者や美容室があるといい。
- ・本とDVDをテーマごとに並べたり、一週間ごとにテーマが変わるコーナーを作る。
- ・多様な使い方ができるスペースや部屋があるといい。例えば視覚障がい者のための対面朗読や外国人の交流場所、ビジネスマンが、少し仕事できるスペースが設けるといいのではないかと。ビジネスマンも11時頃には駅前にいるが、キャノピーの下でパソコンを開いていて、待つ場所がない。
- ・雪のことを考えれば、除雪しなくてもいいように1階全部を駐車場とする。地下駐車場も考える。
- ・運営のことになるが月曜日は休館にしない。月曜日に行くところがない。
- ・ホームページからも本の予約できるようにしてほしい。
- ・子供達や高校生の居場所が駅前にでき、そこから新発田に貢献してくれる人材が出てくるといい。

④四班

- ・電車時刻の電光掲示板を設置し、駅とリンクすれば、複合施設にいながら電車時間がわかる。複合施設利用者が電車の遅れや運休情報などリアルタイムに見られるといい。
- ・エントランスから入ってすぐの所に雑誌、新刊、新聞コーナーがあるといい。
- ・30代でもツタヤからコミックを借りてくる。図書館でもできないか。
- ・この複合施設は、民間棟も含めて一つの施設。通路はフリーであっていい。無線LANがあれば、図書館にパソコンルームはいらないのではないか。
- ・現在、新発田には700人くらいの外国人がいる。その人達も施設利用ができるよう国際交流エリアがあるといい。また各サークル活動や子供達のバンド練習、悩み相談、女性団体等の活動ができる場所もあるといい。
- ・諏訪神社側の入口近くにプレイルームを設置し、外からも、また中にいる親からもよく見えるようにする。キッチンスタジオも外から見えるようにする。

⑤五班

- ・「静のスペース」としては、図書館機能。にぎやかな「子供スペース」には授乳室や男子トイレにも親子トイレを設ける。
- ・エントランスは、3箇所が道路に面しているのも、それぞれにあるといい。駅側をメインエントランスとし、そこには新聞コーナー、トイレ、くつろぎスペース、カフェ、エレベーターがあるといい。
- ・高校生や社会人が立ち寄れるスペースを設ける。
- ・ビジネス支援のコーナーがあると民間棟ともより連携できる。
- ・大倉喜八郎などの郷土の偉人の歴史資料コーナーを設け、民間棟と連携させるといい。
- ・多目的ホールを目的空間としてある特定の目的を持った人が使うエリアとする。例えば100人集客して発表会やコンサートができる多目的ルームがあるといい。また会議室もあるといい。
- ・図書館の読書席は色々な所にあるといい。
- ・多目的ルームは、機材の搬入のため1階にあるといい。緊急時に避難することもできる。

(7) 総括（佐藤総合計画）

各班から出た意見で共通する要素

- ・えんぱーく視察から「機能融合」が重要。「静」・「動」をゾーニングで分ける。
- ・諏訪神社や遠景の二王子・飯豊連峰など周辺の環境（景観）を取り入れていく。
- ・行政棟と民間棟は一体的に考える。
- ・駐車場はたくさん駐車でき、雨風や雪をしのげるもの。
- ・エントランスは、駅側、商店街側など色々な所から入れるようにする。
- ・青少年の居場所、スペースが求められる。
- ・色々な場所に読書席を設ける。

(8) その他（提案、主な質疑・意見等）

○提案（司会：佐藤総合計画）

ワークショップの開始時間について、午後7時から遅いので、午後6時半からの開始はどうか。

●回答（参加者）

午後6時半開始で支障なし。

○質問

市は提案箱を設置しているが、図書館後援会にはアンケート等で意見を聞こうとしていない。一般の人は、広報でしか情報を得られない。市に対し要望も出したが、まだちゃんとした説明がない。お互い前に進む努力をするべきだ。この複合施設計画について図書館の館内に掲示をしてもらいたい。

●回答（司会）

ご意見として伺います。

○質問

基本設計ワークショップでは、複合施設の運営も意見できると思っていたのだが、運営についてのワークショップは行うのか。

●回答（市）

このワークショップは、あくまで基本設計のワークショップである。意見を積み上げていきたいため、メンバーを固定させていただいた。運営については、当然色々聞いていかねばならない。前提として図書館は直営の予定。人員の問題もあるがボランティアの方にもお願いすることも出てくる。市としては、運営についてもワークショップを立ち上げたいと考えている。今のワークショップの参加者の方々には、次の運営のワークショップについても引き続きやってもらいたい。基本設計をやるのが先なので、年内は難しいが、参加者について公募を行い、年明けには運営のワークショップを開催したい。教育委員会とも協議し進めたい。

○質問

パブリックコメントの結果は公表しないのか。

●回答（市）

既に9月27日から公表している。

○質問

ワークショップの参加者に要約したものを配布しないのか。

●回答（市）

パブリックコメントの回答は膨大になり、また意見提出者に配慮し、要約はできない。